平成２４年１２月１３日

各　位

会 社 名　　株 式 会 社 プ ロ ネ ク サ ス
代表者名　　代表取締役社長　上 野 剛 史
（コード番号　７８９３　東証第一部）
問合せ先　取締役執行役員社長室長 大和田雅博
電話番号　　０３－５７７７－３１４５

「第４回プロネクサス懸賞論文」の受賞作品決定のお知らせ

株式会社プロネクサスは、資本市場の健全な発展に寄与することを目指し、平成 21 年から開始した「プロネクサス懸賞論文」を本年においても引き続き実施いたしました。このたび、受賞作品が決定いたしましたので、お知らせいたします。

「上場会社のディスクロージャー・ＩＲをより効果的、効率的なものにするための研究および提案（但し、実証結果を出すための実証分析は不可。なお、提案を補強するための実証分析を論文の一部に含めることは可。また、ＩＲの具体的な表示方法の工夫を提案することも可とする。）」というテーマに対して、４本の論文の応募があり、審査委員会にて厳正かつ多面的に検討を行い、優秀賞１本、佳作１本の論文を選定いたしました。今回は、残念ながら最優秀賞は該当なしとなりました。

優秀賞には、鈴木智大著『業績予想の開示戦略と経済的帰結』が選ばれました。経営者による利益予想情報は株価に対する価値関連性が大きく、かつ、経営者予想には実績に比べ過大、過小といった傾向がある場合があるため、経営者ごとの傾向を加味して予想情報を利用しているアナリストが多いことは、これまでのインタビュー調査等で指摘されてきました。本研究は、このような経営者の利益予想開示の実態を統計的に確認し、さらに株式市場の反応との関係を検証したものであります。

佳作には、飯泉　潤、木村大樹共著『有価証券報告書における情報開示の課題と改正案－第２「事業の状況」の総括的な研究とさらなる企業内容開示制度の展望－』が選ばれました。

本研究は、非財務情報が多く記載されている有価証券報告書　第２「事業の状況」に着目し、現行制度および実務の課題を明らかにするとともに、一般投資家に対してわかり易く、かつ有用な情報開示方法を提案することが目的であります。

弊社では、来年度以降も引き続き本懸賞論文の実施を予定しております。４回目となる今回も充実した内容の論文が寄せられました。来年度も同じテーマおよび募集要領で第５回論文募集を行い、より多くの論文の投稿を期待しております。

記

【第４回審査結果】

最優秀賞　該当なし

優秀賞　　１本

鈴木智大（すずき ともひろ）（亜細亜大学経営学部　専任講師）
『業績予想の開示戦略と経済的帰結』

佳　作　　１本

飯泉　潤（いいずみ じゅん）（東京経済大学経済学部　４年）
木村大樹（きむら だいき）　（東京経済大学経営学部　４年）
『有価証券報告書における情報開示の課題と改正案
－第２「事業の状況」の総括的な研究とさらなる企業内容開示制度の展望－』

【ご参考／第５回募集要領】

１．テ　ー　マ：上場会社のディスクロージャー・ＩＲをより効果的、効率的なものにするための研究および提案（但し、実証結果を出すための実証分析は不可。なお、提案を補強するための実証分析を論文の一部に含めることは可。また、ＩＲの具体的な表示方法等の工夫を提案することも可とする。）

２．応募締切日：平成 25 年 9 月 20 日（金）

３．応 募 資 格：40 歳以下（平成 25 年 9 月 20 日現在）の日本在住の方。大学生・大学院生・研究者・一般社会人等。個人または共同執筆（2 名まで）。

４．懸 賞 金 額：最優秀賞 50 万円（1 本）、優秀賞 30 万円（1 本）、佳作 10 万円（若干名）

５．審 査 方 法：下記の審査委員で構成する審査委員会で審査を行います。

委員長	慶應義塾大学商学部教授	黒川 行治
委員	早稲田大学商学学術院教授	川村 義則
委員	早稲田大学大学院商学研究科教授	小宮山 賢
委員	株式会社バリュークリエイト パートナー	佐藤　明
委員	青山学院大学大学院教授	多賀谷 充
委員	株式会社プロネクサス 代表取締役会長	上野 守生

（敬称略）

【問合せ先】

株式会社プロネクサス プロネクサス総合研究所　懸賞論文係　原口（はらぐち）
ＴＥＬ：03－5777－3032（平日9:00～17:30）
E-mail：souken@pronexus.co.jp

◎ 詳細は、弊社プロネクサス総合研究所ホームページをご参照ください。
http://www.pronexus.co.jp/home/souken/index.html

以　上